

創造

JA いけだ
CREATION

今月号の表紙写真は3月1日に執り行われたJA十勝池田町発足式の写真です。詳細は2、3ページをご覧ください。

十勝池田町農業協同組合 発足式



CONTENTS

- ※ JA十勝池田町発足式
- ※ 辞令交付式
- ※ 新規就農者激励状伝達
- ※ 「十勝池田町フェア」を開催
- ※ 十勝のごちそうフェア
- ※ 21NEWSアラカルト

- ※ シリーズ 協同組合と報徳
- ※ 各部署職員紹介
- ※ 池田農協第2事務所完成
- ※ ベジタブルライフ
- ※ 貯金共済課より
- ※ 畜産部通信

- ※ 石田邦雄の農業拾い読み
- ※ 今月の1枚
- ※ 理事会・監事会の動き
- ※ 編集後記

2021.

3
MARCH

No.135

JA十勝池田町発足式



鈴木雅博組合長（開会挨拶）

開拓の魂を今ひとつに
私たちは先人の意思を未来へつなぎます

JA十勝池田町発足式が3月1日に池田町田園ホールで行われました。平成26年4月開催の総会により合併検討が承認されてからおよそ7年、この間、合併検討委員会の設置、合併推進委員会の設置、合併契約調印式の開催、合併実行委員会の設置を経て、多くの協議を重ねて、無事に発足を迎えることができました。

発足式では、同日の理事会において新代表理事組合長に選任された鈴木組合長から「新農協創設のテーマ『融和と信頼、開拓の想いを次世代、そして未来へ』を掲げながら、組合員各位への説明にも十分な時間をかけ、進めて参りました。この期間、中央会を中心とした各連合会、関係機関の皆様にはご支援とご協力を頂き厚くお礼申し上げます。」

と挨拶し、新役員紹介の後、来賓の十勝総合振興局長・水戸部裕様、池田町長・安井美裕様、北海道農業協同組合中央会代表理事会長・小野寺俊幸様、十勝地区組合長会会長・有塚利宣様より祝辞を頂きました。

また、北海道農協合併推進本部委員会からの新JAの今後の運営基盤づくりを支援するための特別奨励金が北海道農業協同組合中央会代表理事会長・小野寺俊幸様より贈呈され、鈴木組合長からお礼の言葉が伝えられました。

終わりに八木副組合長から「合併は目的ではなく手段であります。地域農業の振興のため役員一丸となって努力して参ります。」と閉会挨拶を述べ、町内1JAとしての出発を誓い、発足式は盛会の内に幕を閉じました。

（記事・管理部部長 岡本竜之）



合併奨励金目録贈呈



池田町長
安井美裕 様



十勝総合振興局長
水戸部 裕 様

来賓
祝辞



十勝地区農業協同組合長会 会長
有塚利宣 様



北海道農業協同組合中央会 代表理事会長
小野寺 俊幸 様



J A 網領朗唱



八木英光 副組合長 (閉会挨拶)

役員紹介



辞令交付式

合併に伴う職員の人事異動に対する辞令交付式が3月1日に本所事務所大会議室で開催されました。

本来であれば、全役職員が一同に会して開催するところですが、新型コロナウイルス感染防止の観点から職員は最小限の出席者として、支所、事業所とはWebで繋いでリアルタイムに視聴する形式で行われました。

式では新JAの経営理念朗唱、役員紹介に続き、各部署を代表して部長、支所長に鈴木組合長より辞令が交付されました。

鈴木組合長からの訓示では、「本日ここに新たな心で結束を図り、組合員、地域の皆様に信頼され、頼りにされる農協組織を目指して、役職員一丸となって取り組んでいかねばならないと考えております。」と、また、八木副組合長からの激励の言葉では「次の世代に繋げていくために役職員一層の努力をお願い致します。」とそれぞれ挨拶し、合併協議を重ねてきた役職員に対する感謝と今後の決意が伝えられました。

辞令交付式に引き続き開催されたJA十勝池田町発足式終了後、同日午後から鈴木組合長、八木副組合長、武田代表監事、大塚常務、成田参事が支所、事業所を訪問し、全職員に対して改めて辞令交付が行われました。

(記事・管理部 部長 岡本富之)



鈴木雅博組合長（訓示）



八木英光副組合長（激励の言葉）



各部代表へ辞令交付



新JAの経営理念朗唱



各役員紹介の様子



開拓の魂を今ひとつに。 私たちは、先人の意思を 未来へつなぎます。

2021年3月1日、JA十勝池田町とJA十勝高島が合併し、
新たな十勝池田町農業協同組合（JA十勝池田町）が発足しました。
明治29年から始まった池田町の開拓者である先人達の農業に掛けた想いを引継ぎ、
池田町内1JAで農業の永続的発展のために、邁進してまいります。



十勝池田町農業協同組合

- 本 所：北海道中川郡池田町利別本町1番地 TEL.015-572-3131
- 高島支所：北海道中川郡池田町字高島7番地1 TEL.015-573-2111
- 池田支所：北海道中川郡池田町字大通2丁目1番地 TEL.015-572-3132

新規就農者激励状伝達 を行いました

令和2年度に池田町へ新たに7名就農されました。そのうち池田地区の5名宅へ、令和3年2月17日～18日に、北海道農業協同組合中央会・連合会からの激励状を鈴木組合長が伝達しに伺いました。

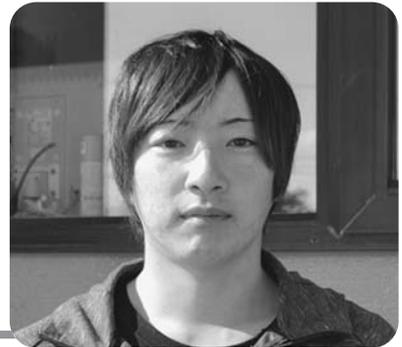
激励には、北海道農業農村振興の担い手として、北海道農業のさらなる発展と豊かな自然を維持する重要な役割となる事を伝達し、鈴木組合長からも「新規就農者は北海道農業の宝」となる事をお伝え致しました。

令和2年度は新型コロナウイルスの影響により伝達を控えざるを得ない状況となり、令和3年度に伝達をさせていただきました。新型コロナウイルスの影響により暗い世の中が続くなか喜ばしい出来事が続く事を願います。
(記事・営農部営農企画課 松村 暁)

① 営農形態 ② 生年月日 ③ 趣味 ④ 一言

利別地区 ^{あか}赤 ^{まつ}松 ^{しょう}祥 ^{へい}平 ^{さん}さん
(赤松明弘さんの後継者)

- ① 畑作
- ② 平成4年4月19日 (28歳)
- ③ 車
- ④ 農業の担い手としての自覚を持ち頑張ります



利別地区 ^い伊 ^が賀 ^{ひろ}裕 ^し史 ^{さん}さん
(伊賀茂さんの後継者)

- ① 畑作
- ② 平成3年4月12日 (29歳)
- ③ スノーボード
- ④ 池田の農業に貢献できるよう頑張ります



東台地区 ^{かわ}河 ^{ぐち}口 ^{とも}智 ^き樹 ^{さん}さん
(河口賢悟さんの後継者)

- ① 畑作・肉牛
- ② 平成6年11月22日 (26歳)
- ③ バドミントン
- ④ 北海道農業のさらなる発展に向けて努力します



清見地区 **た だ かず し さん**
多 田 和 志 さん
 (多田 勝さんの後継者)

- ① 畑作
- ② 平成14年1月19日 (19歳)
- ③ スポーツ観戦
- ④ 日々努力し、早期に経営を任せられるよう頑張ります

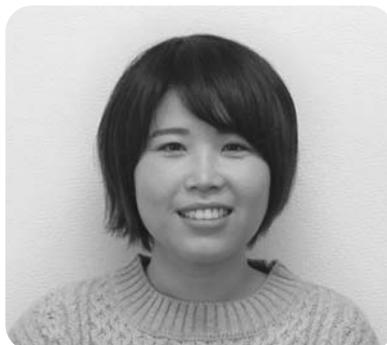


清見地区 **みつ であ たい ち さん**
三 寺 泰 市 さん
 (三寺盛博さんの後継者)

- ① 酪農
- ② 平成13年9月20日 (19歳)
- ③ テレビゲーム
- ④ 一人前になれるよう頑張ります

信取地区 **よこ やま あお い さん**
横 山 碧 生 さん
 (横山博幸さんの後継者)

- ① 酪農
- ② 平成9年8月23日 (23歳)
- ③ 映画鑑賞
- ④ 安心、安全な酪農経営をできるようにがんばります



大森地区 **よし の ひなき さん**
吉 野 ひなき さん
 (吉野裕治さんの後継者)

- ① 畑作
- ② 平成10年3月6日 (23歳)
- ③ 猫と遊ぶこと
- ④ 2年目はもっと出来ることを増やせるように頑張ります



「十勝池田町フェア」を開催

東光ストアにて

1月25日から27日の3日間、東光ストア全店で「十勝池田町フェア」が開催されました。

例年は、生産者による店頭PR販売を実施しており、生産者と消費者が顔を合わせ、産地の思い、美味しさを直接伝えられる良い機会ではありましたが、今回はコロナの影響により残念ながら実施することができませんでした。

そこで、東光ストアでは、新しいアイデアとして売り場にモニターを設置し、生産者からのメッセージと過去に作成した根張星とさつ姫のプロモーション動画を流すこととなりました。挨拶プロモーション動画は、スマホでも簡単に視聴できるようチラシにQRコードも掲載して頂きました。

中西洋一ご夫妻、糊澤達也氏にご出演頂いた産地の思いが詰まった素晴らしいプロモーション動画を流し、売り場を盛り上げました。

例年、このフェアを楽しみにしているお客様から「今年は農家の方は来ないのね」と残念がる様子も見受けられたようです。



売場の様子



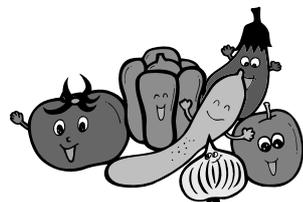
東光ストアご利用の皆さん

実際の映像資料 (中西洋一ご夫妻)

試食は当然この環境ですでありませんでしたが、大谷地店では追加注文があるほど好評でした。

来年は、コロナも収束して、また、生産者が店頭でお客様と交流できるようになれば良いと願っています。

(記事・農産部農産課 課長 石丸 稔)



十勝のごちそうフェア



売り場の様子

10月20日から30日までの11日間、「十勝のごちそうフェア」が札幌市のマルヤマクラスにて開催されました。恒例イベントの中止を余儀なくされた2020年、秋が深まる札幌で十勝の食材を取り揃えた対面イベントとなりました。

2020年日本野菜ソムリエサミット青果部門で金賞に輝いた「つくねいも」。高級感を打ち出すために、1玉入化粧箱を専用手提げ袋に詰めた販売は、一段とお客様の目を引きました。通常であれば試食を通じて美味しさを伝えるところですが、



専用手提げ袋に詰めての販売

普段見慣れない形状の芋とあって注目を集め予想以上の販売に繋がりました。

期間中は館内飲食店がタイアップし、「つくねいも」を使ったメニューを期間限定で販売しました。野菜炒め・中華そば・ピザに「つくねいも」をふんだんに使い、独特の食感をお客様に味わってもらう事ができました。

今後は生産者による店頭PR販売も積極的に実施し、美味しさを広く伝えていけるよう取り組みたいと考えています。

(記事・農産部 部長 森 勝)

女性部

記念式典 あゆみ
～想いをよせて～開催

2月26日、いけだワイン城レストランにて、50周年記念から11年の女性部活動を記念して、あゆみ～想いをよせて～と題した記念式典を行いました。

女性部員12名とJA十勝高島・八木英光組合長にもご出席いただきまして開式いたしました。斎藤実子部長より式辞が述べられ、続いて八木組合長から祝辞をいただき、11年間、多大な貢献をしていただいた歴代部長5名と現事務局に感謝状と記念品の贈呈がありました。

歴代部長を代表して、第31代部長の丸山敬子様へ謝辞をいただき、「女性部を通して豊かな経験をたくさんさせてもらい、知識が深まった」「これまでの女性部活動への感謝」など感動的な内容でした。

続いて、乾杯の挨拶を第30代部長の松本眞由美様より行われ、高島の特産品「つくねいも」を使ったフルコース料理を堪能し、1年かけて作り上げた記念誌あゆみを読みながら、部員それぞれの思い出話に花を咲かせ歓談しました。

(記事・畜産部畜産課 加藤初美)



十勝高島女性部記念式典

意見交換の様子



女性部

若手職員との
意見交換会を行う

2月9日に女性部が農協の若手職員と(入組5年以内の職員を対象に)意見交換会を行いました。

この取り組みは、平成23年より、女性部と農協との懇談会という名称で毎年開催され、今年で10回目。組合長との懇談会から始まり、各部長職との懇談会や青果物説明会、共済の見直し相談会など、農協に関わるテーマを持ち、農協について改めて知る機会として知識を深めてきました。

今回は部員から、「若手職員の顔と名前が一致しない」「話してみたい」という要望が上がり企画しました。

職員11名、女性部12名参加のもと、自己紹介から始まり、グループを4班に分けて意見交換をしました。事前に質問したいことを紙に書いてもらい集約して、女性部の質問には職員が答え、職員の質問には女性部が答えるという形式で意見交換がスタートしました。各班賑やかな会話で、笑い声も聞こえ、女性目線の農作業についての話題であったり、その他前職はは何をしていたかなど様々な質問が聞けたり、職員は仕事のことだけではなく、普段の生活でどんなことをしているのかなど、知らない一面を聞くことができたりと、交流を深めました。

意見交換の次には、各班交流を深めた仲間がチームとなり、班対抗ジェスチャーゲームを行いました。これもまた賑やかに笑い声もあり、楽しくゲームし、一番正解の多かった1班が優勝。賞品としてお菓子詰め合わせセットが渡され、閉会しました。

職員と女性部が交流する機会が中々無かったので、今回楽しく交流することができて、女性部にとっても職員にとってもお互い良い機会となりました。

(記事・営農部営農企画課 豊原英梨)

女性部

冬期生活講座 ～女性部とフレッシュミズ、 保健師の講座を受講～

1月26～28日の3日間にかけて、女性部とフレッシュミズを対象に冬期生活講座を開催しました。

今回のテーマは「コロナに負けない健康づくり」として、新型コロナウイルス感染拡大により、多くの方が不安やストレスを抱えています。そんな中でも心を元気に保つためのセルフケア方法や心の病気についてお話していただきました。北海道の新型コロナウイルス感染者数は1万6千人を超え、死者も560人以上となり、感染拡大で環境や生活の変化による日本の自殺者数は7月以降増加。特に女性の自殺が増加しているとのことで、感染対策と合わせて早期から心のケアも必要不可欠な状況となっております。

ではどのようにしたらよいか。「毎日の生活習慣をととのえましょう」ということで、1日3回決まった時間にバランスの良い食事をとること。覚醒と休息のメリハリをつけて良質な睡眠をとること。家にこもっているとストレスが溜まりやすくなるので、適度な運動もオススメです。また、自身のストレス状態について簡易診断をするため、ストレスチェックも行いました。講座後は、コロナのことや体のことについて活発な質疑応答がなされました。

(記事・営農部営農企画課 豊原英梨)



フレッシュミズ講座の様子

タオルを使って背骨の歪みを整える様子



女性部

女性部冬期 レクレーションを開催!

2月1日に、西部コミセンにて女性部冬期レクレーションを開催しました。

今回は、体を動かしたいという部員の声から、「背骨コンディショニング」を行うことになり、講師に背骨コンディショニング協会

北海道支部支部長の小林秀子先生をお招きし、参加者18名のもと、講座を行いました。

背骨コンディショニングとは、背骨の歪みを整え、全身の不調を改善する運動プログラムのことです。最初に体の仕組みの説明をしていただき、背骨が大きく4つに分かれていることを知りました。上から、頸椎、胸椎、腰椎、仙骨。腰と仙骨の歪みが坐骨神経痛を生んだり、仙骨が歪むと側弯症になるなど、仙骨が重要な働きをしていることも知りました。

実際に背骨の歪みを整える運動を、ヨガマットとタオルを使って実践し、横になって片足(足の裏)にタオルを引っかけてタオルをクロスして持ち、足を天井に向けて上げていき伸ばしていきます。また、クロスしたタオルの片方を引っ張って足を内側に向けて伸ばしたり、足を横に倒して伸ばしたりすることで猫背の解消やストレートネックの解消に繋がるそうです。

終わってから参加者に聞くと、「体が軽くなった」「痛みが少し和らいだ」といった体の不調の改善がみられたので、背骨コンディショニングを開催して良かったなと感じました。ご家庭でも出来るので、是非継続して実践して頂ければと思います。

(記事・営農部営農企画課 豊原英梨)

生産資材課

令和3年春の大感謝祭を行いました



例年、2月に「春の展示即売会」を開催していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑みて、中止と致しました。

展示会の開催は叶いませんでしたが、代替えとして「春の大感謝祭」と題し、例年出展いただいております、協賛11社よりご提案いただいた商品を冊子にまとめた取りまとめ方式に変更し、各商品を特別価格にてご提供させていただきました。従来とは異なる方式であった為、商品数に限りがあること、実際に商品を手にとることや意見交換をしながらのご検討をいただくことができない等、ご不便な点もあった中、多くのお申し込みをいただきました。

未だ先の見えない状況ではありますが、資材課では「こんな時だからこそ出来る」ことを模索しながら、春からの作業に向けた農業資材や新商品の情報提供を今後も継続してまいります。

最後に、取りまとめをご利用いただきました組合員の皆さま、並びに取りまとめ冊子作成に当たり、商品のご提案をいただきました11商社の皆様には、心より感謝申し上げます。

(記事・購買部生産資材課 桜井綾之)



生産資材課

令和3年度農薬早期予約取りまとめ実績報告

3月1日の合併に先立ち、旧高島農協と同一の内容で「令和3年度農薬早期予約取りまとめ」を昨年末から1月31日にかけて実施致しました。

旧池田農協では例年、全品10%値引きで取り進めておりましたが、本年より全品5%・重点20品目は12%値引きと方式を変更し実施致しました。旧高島農協においては初めての取組となりました。値引き率が変更された旧池田農協では115百万円(前年比101.8%)、初の取組となった旧高島農協では47百万円(前年比101.7%)、合計162百万円といずれも昨年を上回るお申込をいただくことが出来ました。

程なく農作業のシーズンが本格化するにあたり、生産資材課では病害虫発病予察等の情報収集並びに組合員の皆さまへの情報発信を恒常的に行いますとともに、各種営農資材の取りまとめを実施し、組合員の皆さまの生産コスト低減に向け努力してまいりますので、今後とも生産資材課をご利用いただけますようお願い申し上げます。

最後に、「令和3年度農薬早期予約取りまとめ」をご利用いただきました組合員の皆さまに深く御礼申し上げます。

(記事・購買部生産資材課 桜井綾之)



管 理 部

「いけだ食堂みんなのキッチン」様へ 農産物寄贈

「いけだ食堂みんなのキッチン」様へ、2月12日（金）に農産物を寄贈致しました。12月に行った医療・介護・保育従事者の皆様への寄贈の際、お渡しできなかったため今日に至りました。



今回のいけだ食堂のお弁当
(鮭の甘酢あんかけ・ポテトサラダ)

「いけだ食堂みんなのキッチン」はボランティアとして、令和元年5月から月に1度、実行委員10名ほどで活動しており、こどもたちを中心に幅広い世代に食事を提供しています。当初は西部コミュニティセンターで給食のように食べてもらい、ゲームなどで地域交流を行っていましたが、現在は新型コロナウイルスの影響を鑑み、お弁当の配布のみに変更して活動しています。

実行委員会代表の藤原恵子さんに伺ったところ、今回寄贈したメイクイン・たまねぎは、ポテトサラダや肉じゃがに使われる予定とのこと、こどもたちの喜ぶ姿が今から楽しみです。



実行委員会代表
藤原恵子さん

(記事・営農部営農企画課 柳 嘉則)

シワワーズ 協同組合と報徳 No.60

経営者に受け継がれた 報徳の教え

現代社会を生き抜くためには、
どうしたらいいのかと思悩んで
いる人も多いと思います。しかし、
その答えはハッキリしています。

それは、分度を守って生活や農漁
業経営を行うことに尽きるのです。

分度生活を実践するのには、最も
大切なことは「己に克つ」ことで
す。自分の欲を抑え、見栄や外間
にとられない勇気を持つことが
必要です。己に克つことができな
い人は、苦勞して得た収入も、使
い方が定まらないと、底の破れた
袋に水が貯まらないようなもので、
足らぬ足らぬと不足を嘆くことに
なります。

(一) 借金は小借のうちに返せ

誰もが借金を憎み、貯金を欲す
る気持ちに変わりはありませんが、
一面では借金も貯金も隠したがる
ものです。借金となると主人は家

族にも隠したがる傾向があります。
しかし、不思議に隠せば隠すほど
増えるのが借金なのです。借金は
魔物です。そして成長も早いの
です。だから借金は分度を実践し、
できるだけ小借のうちに返済しな
ければだめなのです。

(二) 投資は分度を知った上で

また、人によっては、報徳は儉
約けんやくで借金もしてはならな
いというが、こんな動きの激しい
時代に、色々な投資をしなければ
勝ち残れない。そのためには、お
金を貯めてからなどと気のながい
ことはいつていられない。借金を
してでも投資をすることが必要だ
と言う人もいます。言わ
れるように、経営上必要な借金は
止むを得ません。しかし、そのお
金が収益を生まなければ家を滅ぼ
します、分度を立てこれを実践し、
しかも緻密な計算のできる人でな
ければ、借金をしてはならないの
です。

(北海道報徳情報 報徳生活読本)

各部署職員紹介

3月1日の合併に伴い、各部署職員の配置が決まりました。
組合員の皆様に、いち早く顔と名前を覚えていただけるよう、
部署ごとに撮影いたしました。この広報誌が組合員と農協を繋ぐ
一助になれば幸いです。

現在、合併記念誌発行に向けて、正組合
員ご家族の写真を撮影させていただいてお
ります。写真のお願いをする際には、是非
ともご協力いただけますよう、お願い申し
上げます。



管理部 管理課



野尻和美 職員 赤石なつみ 職員 高 雄紀 職員 石川豊基 内部監査室中央会委託監査員
杉山淳史 課長 石川幸雄 課長 大塚 節 常務理事 成田吉浩 参事兼務理事 岡本富之 部長兼内部監査室長

信用部 貯金共済課



塩谷知香 職員 森永あみか 職員 土本愛佳 職員 坂東里奈 職員 吉田美幸 職員
 穴澤美都恵 課長 折笠大輔 部長 土井希晃 課長補佐

信用部 池田支所 貯金共済課



石川菜々 職員 高橋明美 職員 松浦 萌 職員
 折笠大輔 支所長 山久保栄治 課長補佐

信用部 高島支所 貯金共済課



東原朋見 職員

今井美緒 職員

佐久間 愛 職員

田中 誠 課長

阿部弘美 職員

営農部 営農企画課・組合員相談課



豊原英梨 職員

岡田雄貴 職員

柳 嘉則 職員

松村 暁 職員

高山信雄 職員

川村雅貴 職員

新沼二郎 部長

佐藤正浩 次長

竜川正之 職員

営農部 高島支所 営農相談課



高野聖史 職員

野口 学 課長

小川 悦郎 職員

農産部 農産課



森平優子 職員 高田昌廣 専門技術員 多田賢一 職員 葛西 蓮 職員 儀間美香子 職員 菅原ゆかり 職員
石丸 稔 課長 三好清司 課長 森 勝 部長 永田健次 次長

農産部 施設課



本郷浩二三 職員 五十公野竜介 職員 鈴木耕一郎 職員 佐藤尚弘 職員 尾藤智子 職員
 松久 充 職員 上田宝文 課長 梶木和也 課長 伊勢将哉 職員

農産部 高島支所 農産施設課



本郷将太 職員 坂本尚之 職員 奥 康平 職員 蓮井健太郎 職員 佐々木健行 職員 宇高健太 職員
 桑原貴代美 職員 中村信英 課長 角各田英司 課長 久保田 淳 課長

畜産部 畜産課



佐藤雄大 職員 高橋敦子 職員 加藤初美 職員 小野寺絵里 職員 才野 諒 職員
 古川勇一 職員 遠近恵子 課長 長井 勉 部長 米川 武 課長 松坂昌信 課長補佐

購買部 生産資材課



永橋 涉 職員 桜井綾之 職員 福田明江 職員 花本 敦 職員
 遠藤泰志 課長 塚本弘明 部長 緑川 強 職員

購買部 給油課 利別SS

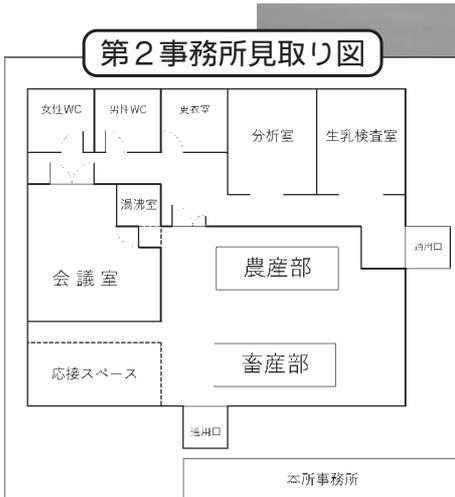


杉 亮兵 職員 小川 誠 職員 下村 毅 職員
加藤博美 職員 芳賀正明 課長

購買部 高島支所 高島SS・生産資材・Aコープ



吉田洋介 職員 林 玲子 職員 成田春美 職員 七田秀二 職員 山本 勉 職員 矢島雄一郎 職員
楠 康典 職員 蜂屋勇貴 職員 永井方典 課長



池田農協第2事務所 完成しました！

～農産課と畜産課が移動～



この度、旧店舗事務所の改装工事が完了し、2月8日より「第2事務所」としての使用が開始されました。同事務所には農産課・畜産課の職員が勤務（当面、本所との分散勤務体制は継続）しており、会議室や応接スペースのほか、農産物等の調査・試験等を行う「分析室」、日々の生乳サンプルを検査する「生乳検査室」が完備されております。今後は農畜産部門の拠点事務所として、より一層相談機能を発揮できるよう取組んで参ります。皆様の来所を心よりお待ちしております。（記事・畜産部畜産課 課長 米川 武）

※組合員皆様の出入口は、建物南側（写真中央）となります。

※直通電話及びFAXが設置されております。

TEL（農産課直通）572-4860

TEL（畜産課直通）572-6500

FAX（両課共通）572-5770



野菜ソムリエ上級プロ
KAORUの

ベジタブル ライフ

ニラ

～元気の源！ スタミナ野菜～

第8回

イラスト：小林裕美子

ニラのプロフィール

- 【分類】ヒガンバナ科ネギ属
- 【原産地】東アジア
- 【おいしい時期(旬)】
通年だが主に春(3～6月)
- 【主な栄養成分】
アリシン、β-カロテン、カリウム、ビタミンK、
葉酸など

見分け方

葉の幅が広めで、
肉厚

まずい

鮮度が良くない
変色している

葉先が折れていたり、
しおれている



葉先までピンとしている
(鮮度良好)

美しい緑色で、張
りツヤがある

切り口がみずみ
ずしく香りが良い

保存方法

傷みやすぐ
フリゲートの
2～3日以内に
使い切ろう



調味料として活用!
刻んでみそやしょうゆ
などに漬けておく

冷蔵保存

冷蔵庫の野菜室で立てて保
存。全体をラップで包むか
乾燥しないよう新聞紙など
で包んでポリ袋に入れる

冷凍保存

1か月ほど保存可能。そのまま汁物や
鍋物、炒め物に！ 洗って水気を拭き
取り、使いやすい大きさにカット、小分け
にしてラップに包むか保存袋に入れる

ニラの子カラ



アリシン
ニンニクや木芋にも含ま
れる強い香りの成分。ビ
タミンB1の吸収を高めて糖の代
謝を促進する働きがあり、疲労回
復やスタミナ増強に役立つ



β-カロテン
緑色の部分に多く含
まれる抗酸化作
用があり、免疫力向上、風邪
予防、美肌、老化予防に効
果が期待できる



葉酸
増血作用があり、貧血予防に
効果的。女性は特に不足しや
すく、妊婦の方にも有効



ビタミンK
骨の強化や
健康維持に役立ち、
止血作用もある

カリウム

利尿作用がありむく
みの改善に効果的。
高血圧予防にも

楽しみ方・食べ方のコツ

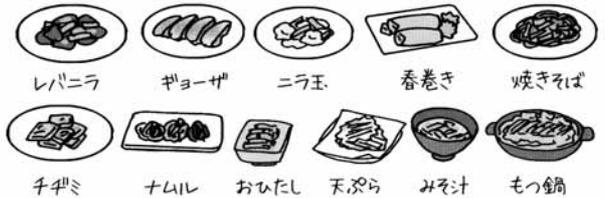
一年中出回るため、夏バ
テ予防のスタミナ食材と
して、また冬の風邪予防
にも香りは比較的柔ら
かく、優しい味わい



昔も今も元気の源

油や肉などの食材と
相性が抜群!
定番スタミナメニューに!

中華料理・韓国料理・日本料理



香り&風味

シャキ
シャキ
4倍

パリパリまで無駄なく!

根元に近い白い部分は
食感と香りが強く、アリシ
ンが葉先の4倍以上含
まれているといわれている

鮮度が良ければ生でもOK

生春巻きやサラ
ダ、スープや麵類
のトッピングにのり
処理不要で手軽
に使える



香りで食欲増進

葉先より根元を利用
すると、肉などの臭み
消しになりビタミンB1
の吸収も高める!



味わいや風味に深
みが出る同じユリ科
の仲間、ニンニクや木
芋と併せて使う

加熱は短時間で!

炒めるときは汁
物や鍋物には最後
に加える



ニラのいろいろ



葉ニラ
一般的な緑色のニラで、長
さは30cm程度。特有の香
りが特徴。炒め物、鍋
物、汁物の他、刻んで
ザンザン、チヂミ、たれに入れ
るなど、使い方は多様



黄ニラ
日光に当てずに軟白裁
培したもので、別名「ニラ
もやし」の薄い黄色で、柔ら
かく、香りも優しい。味は
ほんのりとした甘味があ
り、癖がない



花ニラ
葉ニラの茎が伸び、つぼみが付
いた状態の花茎とつぼみを食べ
る品種。甘くて柔らかく、歯
応えが良く、香りはマイルド。油で炒め
ると食感の良さが楽しめる



木芋ニラ
木芋と交雑育種された
新品種の葉幅が広く、ポ
リウム感があり、調理し
ても存在感がある。食べ
応えも十分

ニラのじみツ

歴史 日本へは
中国から伝来

『古事記』には「賀美良(かみら)」と
いう名前が登場



平安時代の薬物事典『本草
和名』にも「葎(ニラ)の和名は
古美良(こみら)」と記されている

古くは滋養強壮に役立つ漢方薬として、
明治時代以降に野菜として栽培

貯金共済課より

格納庫内収容品の火災共済



みなさま、
『格納庫内収容農機具』の
保障について見落してい
ませんか？



格納庫内の農機具が
火災にあった場合、
火災共済に加入して
いれば保障されるのね。
知らずに過ごしていた
わ。

『格納庫内収容農機具』にも住宅と同じように、
火災によって損害を受けるリスクがあります。
農機具のバッテリー・配線のショートやネズミのイタズラ、
放火によって火災が発生しています。



火災共済

JAの火災共済がみなさまの大切な
農機具を火災からお守りします！！

格納庫内の収容品については新価特約を付帯することにより、収容品の新旧を問
わず再取得に必要な評価額までのご加入が可能となります。
(※ただし、一部の収容品は除きます。)
ですから万一の火災時にも、満額加入されていれば自己負担がなく営農に支障を
きたしません。 ※現在使用していない農機具や農産物など。詳しくは担当者におたずねください。

<ご契約例その1>

住宅物件 耐火造C扱
火災共済金額3,500万円(格納庫500万円・収容品一式3,000万円)
新価特約・臨時費用担保特約付 1年契約
掛金 23,100円(1日あたり 約63円)

<ご契約例その2>

住宅物件 木造扱
火災共済金額3,500万円(格納庫500万円・収容品一式3,000万円)
新価特約・臨時費用担保特約付 1年契約
掛金 46,200円(1日あたり 約127円)

お支払例

火災(地震等以外)で
格納庫・収容品一式に
損害があった場合

最高3,500万円

ご加入の保障内容を把握し
ていますか？どなたでもお
気軽にお問合せください！！

本所貯金共済課
☎015-572-3131

池田支所
☎015-572-3132

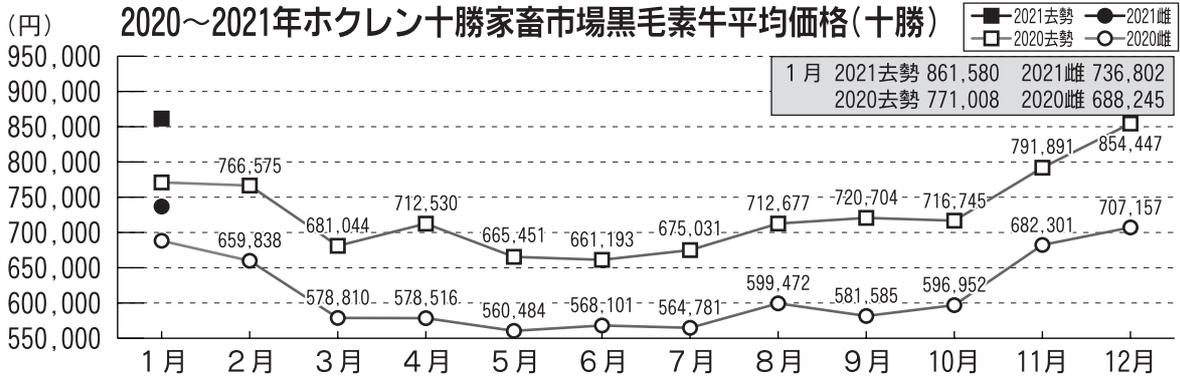
高島支所
☎015-573-2111

※1 上記掛金は令和2年4月1日現在の掛金率にもとづくものです。
※2 この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。
また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。



畜産部通信

畜産部
畜産課

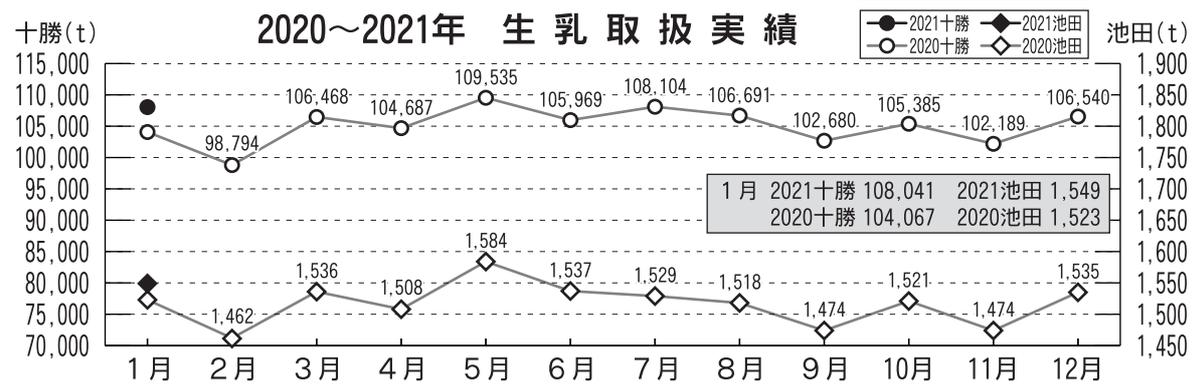


1月黒毛素牛出荷区分別成績

		取引頭数	平均価格(税込)	前月価格比	参加率・認定率
去勢	和牛素牛	991	861,580	7,133	
	マニュアル参加牛	399	858,670	8,330	40.3
	マニュアル認定牛	32	961,641	35,152	8.0
	和牛素牛	50	853,782	9,572	
	マニュアル参加牛	43	832,980	-12,766	86.0
	マニュアル認定牛	8	948,200	23,650	18.6
雌	和牛素牛	760	736,802	29,645	
	マニュアル参加牛	318	727,249	19,718	41.8
	マニュアル認定牛	15	773,446	-60,110	4.7
	和牛素牛	48	720,383	21,217	
	マニュアル参加牛	40	724,505	25,021	83.3
	マニュアル認定牛	7	765,443	-28,432	17.5

1月ホクレン十勝枝肉市場

開催日	区分	規格	平均単価(税抜)
9日	黒毛去勢	A-5	2,395
		A-4	2,133
		A-3	1,863
	黒毛雌	A-5	2,446
		A-4	2,175
		A-3	1,940
去勢	F1	B-3	1,310
	B-2	1,248	
雌	F1	B-3	1,420
	B-2	1,360	



※ 黒毛素牛出荷区分別成績・生乳取扱実績は、池田・高島の合算値となっております。

1月ホクレン十勝乳牛市場

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
7日	乳牛育成	457	467,647
21日	乳牛初妊	752	797,434
	乳牛経産	57	500,577

1月十勝中央家畜市場

区分	平均価格(税込)	前月比
乳牛オス初生	99,356	- 9,382
F1オス初生	136,503	- 11,842
F1メス初生	97,168	- 11,198
廃用牛	204,228	+ 8,284



疑いの3カ条

(有)石田コンサルティングオフィス

代表取締役 石田邦雄



十勝が頭についた2つのJAがいよいよ合併ですね。おめでとございます。何かと生みの苦しみがあったとは思いますが、心からお祝い申し上げます。これを機に更に一段と飛躍をしたJA十勝池田町に期待をしてやみません。予想もしなかったコロナ禍の影響もあつたりして、なかなか思惑通りには進まなかったのではないのでしょうか。新型コロナウイルスの感染者がわが国で初めてみつかったから、もうすでに1年以上も経過をし、経済の疲弊が続く、私達の日々の生活にも大きな影を落としています。かつての当たり前が大きく崩れ、「ニューノーマル」という言葉でも表現されますように、新たな日常に向けての模索が続いています。今回は少しその「当たり前」を話題に話を進めることにしましょう。私はよく研修等で

「組織とは問題の集合体だ」という言い方をします。もし「問題がない」と答えるあなたがいるとすれば、それこそが問題だともいえます。何故なら、問題とは「あるべき姿」と現状の差」をいい、「問題がない」とすれば、現状に満足をし問題意識が希薄のことを意味しているからです。その問題解決にあたりまず求められるのは「問題を問題と感ずる力」、即ち、「感知力」です。その上でどう解決していくかという「構想力」が問われ、それが出来たなら周りにもまく発信を必要によって周囲を巻き込んでいく「実践力」が要求されます。問題解決に当たってはこの「感知力」「構想力」「実践力」が3つの要素といえます。とはいえ、そのスタート段階に当たる感知力に大きく影響を与え、それを邪魔するものがありま

す。それが「当たり前意識」です。それを払拭していくことが非常に重要になります。そこで今回の合併を機に「当たり前を疑ってみることを提起したいと思います。その為には、次の「疑いの3カ条」で点検してみることをお勧めします。一つ目。あなたはこれまでの組合員としての活動を通じて、あるいはJA職員として、長く続いているルールや商習慣、決まり事などにおいて「本当にこれでよいのか？」と疑問を持ったことはありませんか。もう長い間、そのやり方等が定着をし、当たり前として行われてはいるものの、別の視点から見ると「果たして？」と感じるようなことをいいます。2つ目は「うちのJAでは」とか、「わが職場では」などという表現で形容されたりする対象はありませんか。「農協なんだから大丈夫」：これに類するよ

うなことは、あまたあるものです。本当にそうでしょうか？ コロナ禍で最近、使われる言葉の一つにエビデンスという言葉があります。本当にその証拠や保証はあるのでしょうか。3つ目は、これもよく組織において耳にする「これしかない」「これが絶対」などという事柄です。本当にそうでしょうか。「何故なの？」と尋ねられたら理由を明快に答えられますか？ 今日のように環境変化が激しい時代になつてくると、従来の当たり前はそう長く続かないと思つた方が無難です。

以上3点を参考に、雑談でもおおいに結構ですので、少し周りの方と話してみてもいかがでしょうか。そこに改善や改革の手がかりが隠されているかもしれません。ところで問題解決に向けた出発点は感知力だと申し上げました。感知力とは「問題を問題として受け止め、問題の本質を追求していく能力」のことをいいます。それにも様々なものが考えられますが、主だったものをあげると、一つは情報収集能力に優れ、それを正確に理解する「理解力」が考えられます。そうして集まった情報なりデータを的確に分析する「分析力」も必要でしょう。更にはその為には周囲からポイントを絞って聞き取る「傾聴力」、加えて質問等を上手に交えながら多種の情報を入手する「インタビュー力」や、それらから得た情報等をうまく噛み合わせて判断できる「判断力」も要求されます。この感知力には個人差があり、各人が意識的に磨いていくことが重要です。そうして問題解決にあたり大切なのは、問題を見つけたとしたら、「自らが主体的に関わる」ということです。そうでないと、単なる評論家で終わり、場合によっては原因を他者に求めることとなり、不満を生む大きな要因の一つにもなります。するとその不満の原因を持つているのは他者ということになり、周りが問題を解決してくれない限り、不満が不満を生むという「心の悪循環構造」に陥り、より一層、自分を苦しめることに繋がります。どんな状況におかれても、その問題に対して「自分に何が出来るか」：それを考えるのが、真に「問題意識を持つ人の取り組み方」であるといえるのです。

理事会の動き

第1回

〈令和3年3月1日〉

★ 議 案 ★

- (1) 常勤理事（組合長・副組合長・常務）の選任について
- (2) 理事に対する代表権の付与について
- (3) 参事の選任について
- (4) 信用担当理事の選任について
- (5) 職務代理順位の決定について
- (6) 従たる事務所の設置について

監事会の動き

第1回

〈令和3年3月1日〉

★ 議 案 ★

- (1) 代表監事の選任について



今月の1枚



ひな祭り用にお雛様作り！

今日の1枚は手芸サークルの例会で作った作品と講師の浜名香おり先生と一緒に撮影した写真です。

今回は初めてペーパークイリングを行い、ひな祭り用に飾れるよう、お雛様を作って写真立てに飾り付けしました。



暖かく感じる日が徐々に増え、いよいよ春が訪れます。いかがお過ごしでしょうか。執筆までの間には新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、十勝管内の感染確認ゼロが続くこともありました。しかし、管内で再びクラスターが発生する等、まだまだ安心はできませんね。このようなご時世でありますので、「これからも広報誌をコミュニケーションのきっかけにできれば」と思いながら努めて参ります。

組合員の皆様には、農機具点検や農作業が開始されると思います。未然に事故を防げるよう、それぞれ点検事項を徹底していただき、くれぐれも農作業事故等にはお気をつけ下さい。

(柳)

編
集
後
記